

(HP公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：東九州自動車道開通によるストック効果

2 調査報告概要

調査者 会派名等	[会派名、調査者全員の氏名] 遠藤浩
調査内容	1 調査目的 ・高速道路開通によるストック効果に関する状況を調査 2 調査テーマ 1. 高速道路貫通後の工場進出をはじめ地域経済活性化の状況 2. 高速道路開通と林業再生の関係性 3 調査期間 平成 30年 7月 8日～平成 30年 7月 9日 (1泊2日) 4 調査地 [海外→国名・都市名]・[国内→都道府県名・市町村名] ・宮崎県庁 県土整備部他関係部局 ・東九州自動車道 (宮崎 IC～日向 IC) ・細島港、日向市、高鍋町、宮崎市西部の工場用地 5 その他

3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

<p>[調査テーマ] 1. 高速道路貫通後の工場進出をはじめ地域経済活性化の状況</p>	<p>[調査項目] ・ 工場進出の状況</p> <p>[選定理由] ・ 中部横断自動車道開通を控えて工場進出など模範的な先進事例</p>
<p>[調査テーマ] 2. 高速道路開通と林業再生の関係性</p>	<p>[調査項目] ・ 林業再生の経過</p> <p>[選定理由] ・ 木材大手企業進出による木材産業活性化への先進事例</p>
<p>[調査テーマ]</p>	<p>[調査項目]</p> <p>[選定理由]</p>

4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

調査項目	都市（市町村）名・施設名・担当者名及び選定理由
	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 宮崎県県土整備部高速道路対策局 前田氏ほか県土整備部関係課、港湾課、環境森林部山村木材振興課、議会事務局職員</p> <p>[選定理由] 山梨県議会議長から依頼</p>
	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>[選定理由]</p>
	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>[選定理由]</p>
	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>[選定理由]</p>
	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>[選定理由]</p>

5 調査内容

○調査テーマ：(1.高速道路貫通後の工場進出をはじめ地域経済活性化の状況)

調査項目	工場進出の状況		
調査都市等	宮崎県宮崎市	調査日	9日
調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"> 東九州自動車道の部分供用がはじまった平成 22 年度からの累計の企業立地数 151 社。 県内総生産も向上し県内経済の活性化に大きな影響がある。 沿線市町では 670 企業が進出し、1.2 万人の雇用創出。新規投資額は 5100 億円。 大型工場進出予定地は、インターチェンジから 3~5 km離れた立地もあるが 2 車線道路の整備がなされている。 		

調査項目			
調査都市等		調査日	月 日
調査結果概要			

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
遠藤浩	<ul style="list-style-type: none"> 立地までのアクセス道路整備の重要性は実感した。 中部横断自動車道開通のストック効果を引き出すためには、アクセス道の整備は重要。 一般質問や委員会審議において提言していく。

※調査テーマ毎に作成

5 調査内容

○調査テーマ：(2.高速道路開通と林業再生の関係性)

調査項目	林業再生の経過		
調査都市等	宮崎県宮崎市	調査日	9日
調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"> 大型木材加工施設の整備・稼働により原木消費量 35 万 m³/年⇒64 万 m³/年を目指す。 29 年度原木消費量 54 万 m³/年の内、県内材 42 万 m³。 		

調査項目			
調査都市等		調査日	月 日
調査結果概要			

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
遠藤浩	<ul style="list-style-type: none"> 大型木材加工工場による原木の県内材調達は、県森連が窓口になっている。 隣接地に木材原木土場や木材選木機を整備。 身延町内に進出する大型合板工場の稼働に際し県内材調達の体制把握。 一般質問や委員会審議において提言していく。

※調査テーマ毎に作成

6 調査状況 (写真)

○平成 30 年 7 月 9 日 調査先 (宮崎県庁)



-
- ・ 充実した資料により関係する所管課の担当者から丁寧な説明を受けた。
-

○平成 30 年 7 月 9 日 調査先 (宮崎県鍋島町新設工場予定地)



-
- ・ 大手工場が進出する予定地は、大学跡地を活用するとの事。敷地面積 27 万㎡、約 1500 人規模の新工場は、平成 31 年度稼働予定。
 - ・ 高鍋 IC から約 3 km の道則だが 2 車線道路の整備はなされている。
-

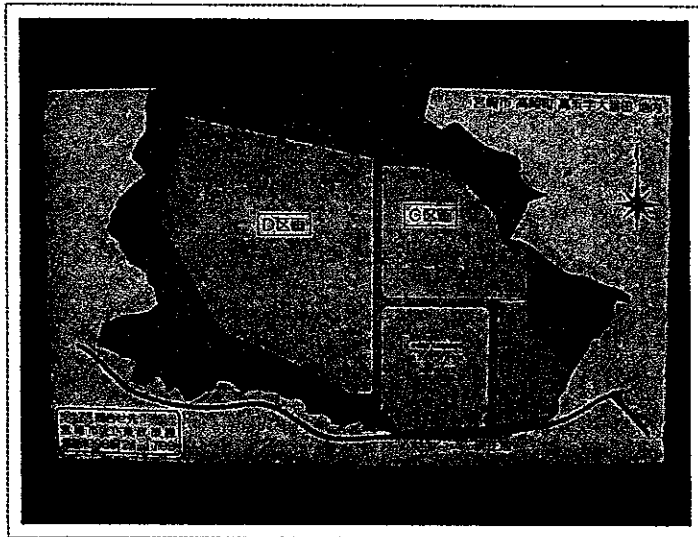
6 調査状況 (写真)

○平成 30 年 7 月 9 日 調査先 (宮崎県日向市細島港、大手製材工場)



- ・ 国内最大の国産材製材工場。
- ・ 敷地面積 43 万㎡、製材、集成材、バイオマス発電など木材の年間受入 70 万㎡を目指す。
- ・ 細島港の開発計画と連動していて工業港、商業港として拠点化

○平成 30 年 7 月 9 日 調査先 (宮崎県宮崎市西部 大手工場進出予定地)



- ・ 宮崎ハイテク工業団地の D 区画は、12 万㎡。国内最大級の航空部品工場が平成 30 年の稼働を目指す。
- ・ 県内から 400 人の新規雇用を予定している。
- ・ 宮崎西 IC から約 5 km 離れた山中にも関わらず、2 車線道路の整備は充実している。